

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中の部

令和三年五月度 入賞句一覧

投句数 四百四十一句



特選

名和 よちゑ 選

かぜがないおなかすいたのこいのぼり

大垣市

大にし まう(小二)

「鯉幟」は、江戸時代からのもので、端午の節句に、出世魚といわれる鯉を外幟にしたものです。こいのぼりはいつも風をいつぱいに受けて大空をゆうゆうと泳ぐイメージです。ところが、作者が見たこいのぼりは風がなかつたので、元氣なく、だらりと尾がたれて、おなががすいているように見えたのです。おもしろいしゅんかんの発見でした。

自転車の快走春の通学路

加茂郡川辺町

前川 慧伍(中一)

季節の喜びは格別のものがあります。さわやかな春風の中を自転車で、さつそうと走っている姿が想像されます。いつもと同じ通学路ですが、何か良い事があつたようです。学校の授業でしようか、友達の話、それとも部活でしようか。自転車は全身で自然を感じる事ができるので爽快ですね。

ラムネのむわたしのおなかはじけてる

大垣市

高橋 怜(小二)

炭酸水に、レモン香料と砂糖を加えた清涼飲料を「ラムネ」といい、レモネードが語源といわれます。暑くなつてくると、冷たい飲み物が欲しくなります。ことにラムネは口にくんただけでシユワシユワとして、飲みこむ時ものどのあたりが、ジンジンとしてしげきです。おなかの中でもはじめていそうです。最後にゲツブがでるとさらにすつきりとなりますよ。

秀逸

春うらら猫大の字のゴロ寝かな

加茂郡川辺町

都築 さやか(中二)

ぶかぶかの学生服で入学式

加茂郡川辺町

馬場 翔(中一)

いしかわのそふからとどくわかめかな

加茂郡川辺町

福井 心満(中一)

大口でコロナのみこむこいのぼり

大垣市

伊藤 晟冴(小三)

やねよりたかくないこいのぼりできた

大垣市

まるの ゆうが(小二)

とんでいけブランコからのくつとばし

大垣市

木下 まいか(小二)

サングラスあやしそうだよパパのおお

大垣市

まつお そな(小二)

ふじだなでぼくとはちのおにごっこ

大垣市

岩田 拓士(小二)

太陽へとぶホームラン炎天下

大垣市

平林 大空(小六)

ろ天ぶろ私を見つめる臍月

加茂郡川辺町

丹羽 涼香(中一)

入選

花みずき木々のすき間には青い空

加茂郡川辺町

川崎 愛心(中二)

サッカーのボール蹴り上げ春の空

加茂郡川辺町

前川 慧伍(中二)

鶯のめざまし時計で起きる朝

加茂郡川辺町

池戸 雅斗(中二)

ははの日にぼくのえがおをプレゼント

大垣市

國枝 拓真(小二)

寝ころんで空見上げればこいのぼり

大垣市

大谷 莉煌(小二)

こいのぼりやねのうえからみているよ

大垣市

村山 れん(小二)

いちがつきチューリップをそだてたよ

大垣市

木下 まいか(小二)

こいのぼりぐんぐんくもをぬいていく

大垣市

しみず まなと(小二)

ビー玉がラムネの中でおどってる

大垣市

まつお そな(小二)

いつもはねたんぼだけれどいまレンゲ

大垣市

あだち かのん(小二)

おひめさまシロツメ草のかんむりで

大垣市

渡部 心結(小二)

春のかぜわたげがいつきにとんでった

大垣市

林 未来也(小二)

わらびのめさがしてあるくちちとぼく

大垣市

もてぎ たける(小二)

おりこうにははのかえりをまつつばめ

大垣市

須網 漣(小二)

夏の風どこからさみしさやってくる

大垣市

中川 絢稀(小六)

にじの下野球のプレイもひかっている

大垣市

清水 敦生(小六)

雷がドカンと光って犬さけぶ

大垣市

鍵田 涉悟(小六)

大空で応えんしてるこいのぼり

大垣市

林 大翔(小六)

つばめさん巣作りします?ええします

大垣市

澤 祐希(小六)

塾帰り車から見るおぼろ月

加茂郡川辺町

安田 愛美(中二)

選者吟

母の日や母と揃ひの帽子買ふ

よちゑ



小中の部